



アフターコロナに向け、 企業と人が活きづく街の創出へ

尼崎商工会議所会頭

吉田 修

新年明けましておめでとうございます。初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、令和元年12月に中国で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されて以来、世界はウイルスという見えない敵への対応に明け暮れる毎日でした。我が国では、昨夏の東京オリンピック開催前に第5波といわれるかつてない感染拡大に見舞われましたが、緊急事態宣言下における国民全体の行動自粛やワクチン接種率の向上、何よりも医療従事者をはじめとする新型コロナウイルスの治療・看護などに携わったすべての方々の必死の努力もあってなんとか危機を乗り越え現在に至っています。一方で新たな変異株の「オミクロン株」が出現したことにより、今後も予断を許さない状況が続きますが、コロナ禍においてこれまで懸命な経営努力を続けてこられた会員事業所の皆様に敬意

を表するとともに、少しでも本会議所がお役に立てられるよう全力を尽くしてまいります。

昨年は、長年本会議所が目標に掲げていた5,000会員を達成することができました。長期化するコロナとの戦いにおいて、国のコロナ対策等を活用する際に商工会議所の支援を希望して入会される方が増加しています。この期待に応え、地域総合経済団体としての役割を果たすべく様々な事業を展開してきました。その1つが尼崎市や医療機関等と連携して実施した職域接種事業です。コロナ禍で毀損した地域経済の1日も早い回復を願い取り組んだところ、実施期間中に延べ2,000人を超える経営者や従業員の方々に接種を受けていただきました。当事業にご協力いただいた市内事業所の皆様には心から感謝申し上げます。次に、ピンチをチャンスとして活かす

べく、攻めの経営に挑戦していただくために、DXの導入支援をセミナー形式で開催したほか、中小ものづくり企業に対しては、技術発掘と販路開拓をサポートする事業を展開しています。さらにはウイズコロナ・アフターコロナを見据え、思い切った事業の再構築を支援する国の事業再構築補助金をはじめとした各種補助金の活用を事業者に促し、新たなビジネスモデルの構築を継続して支援しているところです。

これらの活動が、事業者にとって苦境を乗り越えていただくための一助となるよう更なる取り組みを進めてまいります。地域に目を向けると、令和7年(2025年)の大阪・関西万博開催に向け尼崎港の新たな埠頭の整備計画が進んでいるほか、同じ年にアロ野球阪神タイガース2軍の尼崎への本拠地移転が本格始動するなど、地域経済に

明るい話題が出ています。こうした地域の動きが全体に波及していくよう本会議所が率先して行動し、あらゆるビジネスの機会を捉えていくことで会員事業所の皆様に挑戦していただけるビジネス環境づくりに努めてまいります。

アフターコロナには、本会議所がスローガンに掲げる『企業と人が活きづく街』の創出が必要不可欠だと考えます。尼崎だけではありませんが、コロナ禍の沈んだ気分が覆われた街に再び活気を呼び戻すためには、元気な地域企業が存在が必要です。地域企業の発展はそこで働く従業員や地域住民をはじめとする「人」に活気をもたらし、企業と人の活力で満ち溢れた産業都市「尼崎」はきつと美しい輝きを放つことでしょう。『企業と人が活きづく街』の実現のためにも会員事業所の皆様と共に商工会議所も汗をかき行動していきます。どうかこれまで以上に本会議所の活動にご協力、ご参画を賜りますようお願いいたします。

本年が会員事業所の皆様にとって、笑顔溢れる幸多き年となるよう心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。